



未来を夢見て

2020/12/24 No. 54

第2学期終業式にあたって ～小野小学校の全ての職員の皆様に支えられて～

今日は第2学期終業式です。

6月の学校再開以来、サマータイムや短い夏休みを挟んで、今日まで一気に急な坂道を駆け上がってきた感じがします（箱根駅伝の5区山登りのようでした。もちろん走ったことはないのであくまで想像ですが・・・）。

2学期は重点指導事項として「交通安全」と「挨拶」を目標に掲げて取り組んでまいりました。特に挨拶は、子供たちから私に挨拶をしてくれる子が多くなってきたこと、大変うれしく思っています。また、子供たちの命を預かる学校として、大きな事故や怪我がなかったことは何よりの喜びです。ただ、今後も交通事故防止は喫緊の課題です。

放送では、このことについて子供たちの頑張りや今後の課題（特に交通安全）を確認します。また、本校だけでなく大和町で大事にしている「ここを育てる4つの言葉」について、計画委員会の皆さんの取組の様子も紹介します。写真上は階段にスローガンを添付し、多くの人に気付いてもらおう、という作戦を実行しているところです。子供たちらしいすばらしいアイデアですね。「真ん中に貼るか。端に貼るか」で相当悩んで、わざわざ校長室まで相談にきてくれました。

また、1学期同様、「2学期の様子を振り返って」のプレゼンを準備しました（約20分）。今回は文字による説明はありませんので、必要に応じて担任の先生が解説を加えてください（堀田先生が最後仕上げてくださいましたので格段にクオリティが高くなっています）。

4部構成で第1部は「友達はいいもんだ」。2学期の各学年の校外学習の様子を曲に乗せて映像で振り返ってみました。

第2部は「はじめの一步」。ここでは1年生から順番に授業での先生方と子供たちの様子について紹介します。

第3部は「修学旅行」です。美しい晩秋の会津で活動する6年生の様子を紹介します。

第4部は「この星に生まれて」です。この曲の歌詞の中に子供たちへの強いメッセージが込められているので、小野っ子太鼓や6年生のよさこいソーランの力も借りながら、美しい古里大和町の風景を背景に、歌詞の情景に忠実に構成してみました。

さて、一番下の資料は相田みつおさんの「いのち根」です。先日、ある会議の資料の1つとして配付されたものです。会議で直接扱われたわけではないのですが、読んでいるうちに、4月以来、一緒に幾多の困難を乗り越えてきた徳田教頭先生、安藤教頭先生はじめ、小野小学校の皆さんの顔が自然に浮かんできました。ただただ感謝の気持ちで一杯です。本日、水紅会の時間があるとお聞きしています。こういう情勢でなければ「忘年会」シーズンのはずです。宴席を決して否定するつもりはありません。ただ、**宴席なしでも目の前の子供たちのために仕事を通して築いてきた「小野小学校の職員の方との絆（信頼関係）」は今までのどの職場の関係以上に強いものであるように私には思えます。**会の中で少しお時間を頂き、今年最後のお話（お願い）をさせていただきます。当日参加できない方々にもどこかの時間でお伝えしたいと思いますので、教頭先生方と相談してください。今年ステイホームの年末・年始になりますが、皆さんどうかよいお年をお迎えください。



なみだをこらえて
かなしみにたえるとき
ぐちをいわずに
くるしみにたえるとき
いいわけをしないで
だまって批判にたえるとき
いかりをおさえて
じっと屈辱にたえるとき
あなたの眼のいろが
ふかくなり
いのちの根が
ふかくなる

以上にお話をありがとうございました。今年最後のお話（お願い）をさせていただきます。当日参加できない方々にもどこかの時間でお伝えしたいと思いますので、教頭先生方と相談してください。今年ステイホームの年末・年始になりますが、皆さんどうかよいお年をお迎えください。

（文責：手代木）